

薬剤師

和歌山県では、県職員として現在約50名の薬剤師が、本庁や保健所、工業技術センター、環境衛生研究センター、こころの医療センターなどで勤務しています。職員がそれぞれの大学で学んだ薬学、化学、医療などの知識や技術を生かし、県民の健康を支えるために、医薬品などの品質・有効性・安全性の確保業務、食の安全確保業務、廃棄物の不法投棄対策、医薬品などの試験・研究業務、病院での調剤・服薬指導業務など、多岐にわたる業務を担っています。

また、様々な職種の方々と仕事を連携して行うことで、いろいろな考え方に接することができ、自分自身の人生のスキルアップにもつながります。

このリーフレットで、本庁業務課の若い職員から仕事のこと、業務時間外の過ごし方などメッセージも紹介しています。皆さんの今後の進路を考える一助となれば幸いです。

海・山・川の大自然に恵まれ、温泉・体験・グルメと旅の醍醐味いっぱいのわかやまで、県職員(薬剤師)として働き、活躍してみませんか？

キャリアパスモデル

主な役割 ※当モデルはあくまで一例です

- 24歳 医療技師
 - 公務員として基本的な知識の習得、担当業務の確実な実行など
- 30歳 副主査
 - 収集した知識の担当業務への活用、課題解決への提案など
- 37歳 主査
 - 担当業務に対する効率化・改善、適切な進行管理など
- 42歳 主任
 - 若手職員の指導育成、班長サポート、班内業務に対する適切な進行管理
- 47歳 班長
 - 班内業務の適切な進行管理、マネジメント
- 53歳 副課長
 - 課の目標・成果の進行管理、課員の評価・人材育成、職場環境づくり
- 57歳 課長(次長)
 - 行政課題への対応方針、政策決定、課の成果の設定、課員の評価・人材育成



「薬物乱用防止！」

違法薬物のみならず、病気などの治療に使用する医薬品であっても、過量に摂取するなどの誤った使い方をすると薬物乱用になります。県では、病院や薬局、医薬品卸売販売業者などへの立入検査を実施し、患者さんに適切な医療が提供されるよう、医薬品の適正な流通や施用などについて指導しています。

また、薬物乱用防止指導員や関係機関の方々と協力して薬物乱用防止教室や街頭啓発を行い、県民の方々に覚醒剤や大麻、危険ドラッグといった薬物乱用の危害に対する正しい知識を普及しています。さらに、薬物の危険が身近な問題であることや薬物で悩んだ時の相談先についても広く周知を図っています。

薬物を乱用すると、乱用した本人だけでなく家族や友人など、周囲の人にも多大なる影響を与えてしまい、社会に及ぼす影響は甚大です。誤った知識や興味本位などの理由で安易に薬物に手を出してしまう人がいなくなるよう、日々業務に励んでいます。



業務課

上田 伸幸 副主査

平成27年度採用

これまでの経歴

H27～H29年度 那賀振興局健康福祉部(岩出保健所) 衛生環境課
 H30～R4年度 食品・生活衛生課
 R5年度～ 業務課

1日の流れ

9:00	9:30	12:00	13:00	14:00	16:00	18:00
出勤	会議の準備	昼休憩	移動	会議開催	帰庁	退勤
・メールチェック	・会議資料作成 ・会議の最終打合せ	・昼休憩後、会議を行う 現場へと移動し準備	・運営、議事進行 ・終了後、片付け		・報告書の作成	

LIFE 私のわかやまライフ

運動不足になりがちなので、業務時間外や休日はジムにいった体を動かすようにしています。また、アウトドアが好きなので和歌山の大自然の中でゴルフやキャンプをするなどして楽しんでいます。職場の先輩や同僚と一緒にソフトボール大会に参加することもあり、いろんな職種の人と関わりがあるため、交流が広がり、楽しい時間を過ごすことができています。



WORK 担当した仕事の内容・魅力

和歌山県の薬剤師は、行政・試験研究・調剤業務に携わっています。私は入庁以来、行政分野(保健所と本庁)で勤務してきました。行政分野では薬事と食品衛生の業務を担当することが多く、例えば食品衛生の業務では、お店で販売されている食品の抜き取り検査や、食中毒発生時の対応などを行っていました。法律改正など時期によっては大変な時もありましたが、食品事故を未然に防ぎ、安全な食品を届ける一役を担えたことにやりがいを感じました。現在は、薬事の業務を担当し、医療用麻薬の乱用を防ぐために病院や薬局への立入検査を行ったり、薬物乱用防止教室の講師として学校などに出向いたりしています。また、臓器移植の啓発や新型コロナワクチン配送の調整業務など、幅広い業務に携わっています。

薬剤師の業務が多岐にわたり、大変な面がありますが、自分がしてきた仕事の一つ一つが県民の健康を守ることにつながるため、とてもやりがいのある仕事だと感じています。



メッセージ

和歌山県の薬剤師の業務は、薬事関係だけでなく食品衛生や試験研究など、想像以上に多岐にわたります。事業者や住民の方々との関わりが多いため、仕事を通して様々な出会いがあり、また、いろんな職種(獣医師、栄養士、保健師、一般行政職など)の方々と連携を図りながら仕事をすることが多いので、幅広い経験をすることができます。多くの知識が求められ大変な一面もありますが、その分やりがいも感じます。多くの人のために働きたいと考えている人には最適な職場だと思います。